

**市民の企画提案による協働のまちづくり事業  
令和2年度実施事業 評価結果及び意見要旨**

| 提 案 事 業 名 : 森の妖精, 白樺プロジェクト |                                                  |    |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|----------------------------|--------------------------------------------------|----|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 提 案 団 体 名 : NPO法人 癒しの森づくり  |                                                  |    |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 担 当 部 署 名 : 農政部 農林整備課      |                                                  |    |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 配点等                        |                                                  | 配点 | 評価<br>平均点 | ◎ 評価に関する補足 又は 実施事業に対する意見・感想・アドバイス等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 評価項目                       |                                                  |    |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 事業の<br>成果                  | ①事業目的が達成され, 市民(受益者・参加者等)の満足を得ることができたと認められるか。     | 5  | 3.67 点    | ・コロナ禍で様々な変更をしなければならない中で, 感染対策をしつつ少人数に絞ってイベントを開催するなど柔軟な対応はとても素晴らしいと思います。<br><br>・開催可能な小規模イベントを実施するなど工夫されており, 他の市民団体の参考になると感じました。<br><br>・少人数開催という選択と集中を行ったことで受益者の数は減少したかもしれませんが, 参加した人の受益の「量」と「質」を増加したと思われ, コロナ禍においての市民活動として十分効果があったものと感じます。<br><br>・今後は動画配信などWeb発信も利用しながら, 旭川や白樺の魅力を広くPRしていただけると良いと思います。<br><br>・イベントのWeb開催という方法も今後は検討してはどうでしょうか。 |
|                            | ②事業内容, 実施方法は妥当で, 計画に基づき実施されたと認められたか。             | 5  | 3.83 点    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                            | ③事業の収支は適切であり, 費用に見合った効果があったと認められるか。              | 5  | 3.33 点    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                            | ④協働事業として又は団体の自主的な活動による今後の発展や, 他の取組への波及効果が期待できるか。 | 5  | 4.00 点    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 協働の<br>効果                  | ⑤団体と市の役割分担が妥当で, それぞれが役割を果たせたと認められるか。             | 5  | 4.00 点    | ・子どもを対象としたイベントとは別に, 大人向けのWebセミナー等の開催なども実施されてはいかがでしょうか。<br><br>・イベントの規模や参加定員に合わせて広告の方法を変えたり, SNSの活用や団体会員に情報発信の協力をしてもらうことで, 広告費を抑えて十分な集客ができると思いました。今後Facebookの他にもSNSを活用するなど, 工夫してみてもどうでしょうか。                                                                                                                                                        |
|                            | ⑥協働により, 単独で実施するよりも事業効果が高まったと認められるか。              | 5  | 4.00 点    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 合計                         |                                                  | 30 | 22.83 点   | ・白樺に関する取組を行っている市町村について, 担当部署と連携して情報収集してはいかがでしょうか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

**市民の企画提案による協働のまちづくり事業  
令和2年度実施事業 評価結果及び意見要旨**

| 提 案 事 業 名 : 口から始める食べ方支援事業   |                                                 |    |           |
|-----------------------------|-------------------------------------------------|----|-----------|
| 提 案 団 体 名 : 段階食について考える「もがな」 |                                                 |    |           |
| 担 当 部 署 名 : 保健所 健康推進課・保健指導課 |                                                 |    |           |
| 評価項目                        | 配点等                                             | 配点 | 評価<br>平均点 |
| 事業の成果                       | ①事業目的が達成され、市民(受益者・参加者等)の満足を得ることができたと認められるか。     | 5  | 3.33 点    |
|                             | ②事業内容、実施方法は妥当で、計画に基づき実施されたと認められたか。              | 5  | 4.00 点    |
|                             | ③事業の収支は適切であり、費用に見合った効果があったと認められるか。              | 5  | 3.83 点    |
|                             | ④協働事業として又は団体の自主的な活動による今後の発展や、他の取組への波及効果が期待できるか。 | 5  | 4.50 点    |
| 協働の効果                       | ⑤団体と市の役割分担が妥当で、それぞれが役割を果たせたと認められるか。             | 5  | 4.17 点    |
|                             | ⑥協働により、単独で実施するよりも事業効果が高まったと認められるか。              | 5  | 4.33 点    |
| 合 計                         |                                                 | 30 | 24.16 点   |

◎ 評価に関する補足 又は 実施事業に対する意見・感想・アドバイス等

・コロナ禍で、様々な制約や計画の変更を余儀なくされたと思いますが、その中でも乳幼児への細かなモニタリングによる活きたデータの収集や保育園栄養士研修での成果報告など一定の成果が出ているものと思います。成果だけでなく課題の整理がしっかりされており、今後の事業に期待しています。

・今回作成されたブックレットは咀嚼力向上及び健康寿命延伸へのツールとして今後もイベント時のみならず子どもや高齢者がいる世帯に幅広く周知され、活用されていくことを期待します。

・ブックレットの内容をWebですぐ閲覧できるようにすると良いと思います。また、FacebookよりもInstagramの方が子育て世代の利用が多いと思います。様々なSNSを利用したり、団体のホームページを知らなくても、検索したら繋がるような検索ワードやタグを設定するなど多くの方がアクセスしやすくなる工夫が必要かと思います。

・ブックレット作成費を抑える工夫として、簡単なパンフレットから動画へ誘導する→動画の内容をより充実させる、といった方法もあるかと思います。

・専門職の人たちに直接会って説明する機会は今後も限られると思います。代替方法としての動画の重要度は大きいと思います。大変だと思いますが、テロップやレシピのコツなどを入れ、よりわかりやすい動画にしていける工夫が必要だと感じました。

・団体Facebookの登録者を増やすより、今の登録者の方の相談に乗るなど、信頼関係を築き、家族や友人に広げていただくことで、今後口コミなどで多くの方に団体の取組が広がっていくと思います。

・ブックレット作成の検討や意見交換、関係機関への事業周知など、協働する意義のある事業だと感じました。

**市民の企画提案による協働のまちづくり事業  
令和2年度実施事業 評価結果及び意見要旨**

| 提 案 事 業 名 : ひとり親家庭等への家計相談事業 |                                                 |    |           |
|-----------------------------|-------------------------------------------------|----|-----------|
| 提 案 団 体 名 : 旭川FP倶楽部         |                                                 |    |           |
| 担 当 部 署 名 : 子育て支援部子育て助成課    |                                                 |    |           |
| 評価項目                        | 配点等                                             | 配点 | 評価<br>平均点 |
| 事業の成果                       | ①事業目的が達成され、市民(受益者・参加者等)の満足を得ることができたと認められるか。     | 5  | 1.50 点    |
|                             | ②事業内容、実施方法は妥当で、計画に基づき実施されたと認められたか。              | 5  | 2.33 点    |
|                             | ③事業の収支は適切であり、費用に見合った効果があったと認められるか。              | 5  | 1.50 点    |
|                             | ④協働事業として又は団体の自主的な活動による今後の発展や、他の取組への波及効果が期待できるか。 | 5  | 2.83 点    |
| 協働の効果                       | ⑤団体と市の役割分担が妥当で、それぞれが役割を果たせたと認められるか。             | 5  | 2.50 点    |
|                             | ⑥協働により、単独で実施するよりも事業効果が高まったと認められるか。              | 5  | 2.50 点    |
| 合計                          |                                                 | 30 | 13.16 点   |

◎ 評価に関する補足 又は 実施事業に対する意見・感想・アドバイス等

・相談に対しての事前準備はしっかりと行っていたことは評価できる点であり、相談ゼロ件というのはコロナ禍においてはしかたがないと思います。今回の準備段階で得たものを別団体での支援に活かしていただければ良いと思います。

・今後はひとり親家庭に限らずヤングケアラーやダブルケア問題など複雑な家庭も増えているので、そうした世帯についても相談対象とできるような事業に発展していけると良いと思います。

・社会的に意義のある活動だと思います。「ニーズがない」と判断する前に、担当部署として工夫できることがたくさんあったと思います。

・相談案内チラシは、どこで、いつ、誰が、何のために実施するのか、FPとは何かなど、チラシを見る方の立場になって作成してほしいと思います。

・案内について、チラシ、広報だけでなく、SNS等での周知など工夫が必要なのかと思います。

・教育委員会の協力を得て、子どもの入学時に配付される就学援助のお知らせに同封したり、あるいはPTA連合会などに配付できればもっとPRできるのではないかと思います。またオープンキャンパスや進学相談会では経済的なことも話が出るので、関連イベントと併用開催も検討してはいかがでしょうか。

・子ども食堂や学習支援など、ほかの市民団体とネットワークを作って活動していく方法もあると思います。